
本当の強さ、本当の弱さ

村岡 暗太郎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

本当の強さ、本当の弱さ

【Nコード】

N4705BA

【作者名】

村岡 暗太郎

【あらすじ】

あなたの行動は、強きモノの行いか、それとも弱き者の行いか。

あなたにとって

「強さ」

とはなんですか？

力があって、その力で、人の上に立つ事？

そんなの

「本当の強さ」

ではない。

むしろ弱さだ。

僕はそう思う。

僕が中1の頃、

まだ身体が小さく、気も弱かった。友達なんていなかった。頼れるのは、担任の先生だけだった。

僕は毎日のようにいろんな人にイジメられた。暴言、暴力、恐喝、窃盗。すべて経験した。

入学して半年も立たないうちに、自殺だって考えた。でも、怖かった。

三階から見下ろす景色は、まるで、底無しの谷のように見えた。ここから落ちたら、確実に死ぬ。

迷惑かけた両親に感謝も、謝罪もせず、親の顔が見れなくなる。そう思うと。胸が余計に苦しくなった。

僕の後ろには、同じ学年の生徒がいた。みんなこっちをみて笑っている。

冷たい眼差しが、僕にさらなる恐怖を与えた。

その場で、僕は様々な暴言をくらった。苦しかった。

自殺をやめてもいいじめは止まらない。

気が弱く、反論出来なかった僕は、まるで消しカスのようだった。そんな僕に毎日巨大に岩が落ちてくる。

反論したら、暴力を振るわれ、従うしか無かった。

二学期も、三学期も、毎日毎日、巨大な岩の雨はやまない。

今だから言える事がある。

巨大な岩よ、

あなたは以前こう言った。

「弱い者は強い者に従い続けろ」

手首を強く握り、脅すようにそう言った。

あなたは覚えてないだろう。

でも僕は覚えている。

あなたはあの日謝った。だがその目には、その心には、逆に僕を恨んでいる。そう言いたそうな、

冷たい、凍りつきそうなその目が、こころが語っていた。

そして、あなたの行動は強き者がする行動では無かった。

逆に、あなたの行動は、自分の弱さを暴力、暴言で、隠していた。

つまり、あなたの行動は：弱きものがする行動に僕は見えた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4705ba/>

本当の強さ、本当の弱さ

2012年1月12日21時49分発行